

令和6年度沖縄県教育委員会職員(専門員(史料編集担当))採用選考試験案内

令和5年6月5日
沖縄県教育委員会

1 職種、採用予定数及び職務内容

職種	採用予定数	職務内容
専門員・主任 (史料編集担当)	若干名	「新沖縄県史」、「歴代宝案」(琉球王国時代の外交文書)の訳注本(読み下し)及び中琉関係史料等の歴史史料の編集刊行等に関すること。

2 受験資格

【専門員(史料編集担当)】

- (1) 次のア及びイの要件を満たし、ウ又はエのいずれかに該当する者
- ア 昭和63年4月2日以降に生まれた者
 - イ 地方公務員法第16条に定める欠格事項に該当しない者
 - ウ 学校教育法に定める大学院において歴史学等に関する課程を修了し、同分野に関する修士の学位を有する者(令和6年3月31日までに修了する見込みの者を含む。)
 - エ 学校教育法に定める大学(大学院を含み、短期大学を除く。)を卒業した者で、以下の(ア)～(ウ)の業務経験があわせて3年以上ある者
 - (ア) 大学や研究機関における歴史学に関する研究活動や学生への教育
 - (イ) 都道府県・市町村における史料の編纂
 - (ウ) 博物館等における学芸員等

【主任(史料編集担当)】

- (1) 次のア及びイの要件を満たし、ウ又はエのいずれかに該当する者
- ア 昭和38年4月2日以降に生まれた者
 - イ 地方公務員法第16条に定める欠格事項に該当しない者
 - ウ 学校教育法に定める大学院において歴史学等に関する課程を修了し、同分野に関する博士の学位を有する者(令和6年3月31日までに修了する見込みの者を含む。)又は修士の学位を有する者で(ア)～(ウ)のいずれかの業務経験があわせて3年以上ある者
 - (ア) 大学や研究機関における歴史学に関する研究活動や学生への教育
 - (イ) 都道府県・市町村における史料の編纂
 - (ウ) 博物館等における学芸員等
 - エ 学校教育法に定める大学(大学院を含み、短期大学を除く。)を卒業した者で、ウに定める(ア)～(ウ)の業務経験があわせて5年以上ある者

【共通】

- (1) 国籍条項
日本の国籍を有しない者も受験できます。ただし、日本の国籍を有しない者は、公権力の行使又は公の意思形成への参画に携わることとはできないとする公務員に関する基本原則に基づき任用されます。また、採用に当たっては、「就職が制限されない在留資格」であることが必要です。

3 受験手続等

(1) 受験申込書の入手方法

直接受け取る方法	<p>ア 場所 沖縄県教育庁総務課(県庁舎13階 TEL 098-866-2705)</p> <p>イ 期間 令和5年6月19日(月)～令和5年6月30日(金)</p> <p>※ 6月23日(金)、土曜日・日曜日を除く。</p> <p>ウ 時間 午前9時～午後5時</p>
郵便での入手方法	<p>郵送で請求する場合は、沖縄県教育庁総務課あての封筒の表に「専門員採用選考試験(史料編集担当)受験申込書請求」と朱書し、あて先明記の返信用封筒(角形2号:241mm×335mm)に140円切手を貼った上で同</p>

	封すること。 なお、郵送に要する往復の日数を十分考慮してください。
ホームページからダウンロードして入手する方法	沖縄県教育委員会ホームページ (https://www.pref.okinawa.lg.jp/edu/index.html) から受験申込書の様式をダウンロードすることができる。 なお、ダウンロード（印刷）がうまくできない場合は、直接受け取る方法によるか、又は郵便で請求する方法により受験申込書を入手してください。

(2) 申込方法、受付期間

申込方法	<p>ア 申込先 沖縄県教育庁総務課（〒900-8571 沖縄県那覇市泉崎1-2-2）</p> <p>イ 申込手続 受験申込書及び受験票に必要事項（注：受験票の「表面貼付用」欄に受験者の住所及び氏名を忘れずに書くこと。）を記入し、受験票は、郵便はがき（63円）の両面に剥がれないように貼り付け、提出してください。 ホームページからダウンロードして提出する場合も同様に、受験票様式を切り取り、郵便はがき（63円）の両面に貼り付け、受験申込書を同封の上、提出してください。 なお、その他の必要書類は、後述の「出願書類」欄を参考にしてください。 また、郵便で申し込む場合は、封筒の表に「専門員選考試験受験」と朱書きし、必ず簡易書留郵便としてください。</p> <p>ウ 受験票 受験資格審査の結果、受験申込書を受理したときは、令和5年7月下旬までに受験票を郵送する。 令和5年7月31日（月）までに受験票が到着しないときは、沖縄県教育庁総務課総務班（TEL 098-866-2705）まで連絡してください。</p>
受付期間	<p>令和5年6月19日（月）から令和5年6月30日（金）までの午前9時から午後5時まで（土曜日・日曜日を除く。）。</p> <p>郵送の場合は、令和5年6月30日（金）の消印有効とする。</p>
出願書類	<p>ア 受験申込書及び受験票</p> <p>イ 最終学校の卒業証明書又は卒業見込証明書</p> <p>ウ 最終学校の成績証明書（開封無効）</p> <p>エ 履歴書（受験資格に掲げる業務経験がある場合は必ず記入してください。）</p>

4 選考試験の方法等

(1) 第1次試験

- ア 日時 令和5年8月19日（土） 10:00～15:00
- イ 場所 沖縄県立総合教育センター（沖縄県沖縄市与儀3-11-1）
電話番号：098-933-7555 ※ 都合により試験会場を変更する場合がある。
- ウ 試験方法
- (ア) 教養試験
公務員として必要な一般的知識等の能力についての択一式による筆記試験
 - (イ) 専門試験
専門員として必要な専門的知識等の能力についての筆記試験
 - (ウ) 史料読解
古文書史料読解に係る筆記試験
- エ 持参するもの
筆記具（鉛筆、消ゴム）を必ず持参してください。

オ 合格者の発表

令和5年8月30日（水）（予定）にホームページ（<https://www.pref.okinawa.lg.jp/edu/index.html>）に掲載するほか、合格者に通知する。

※ 暴風雨時等の対応

台風等暴風雨時に係る試験実施については、原則として次のとおりとする。なお、試験前や試験当日試験の実施に変更が生じる場合には、「沖縄県教育委員会ホームページ（<https://www.pref.okinawa.lg.jp/edu/index.html>）」に掲載する。台風以外の災害発生時も同様とする。

ア 暴風警報等発令中でも、当日朝、バスが始発から運行している場合は、試験を実施する。

イ 試験開始後、バスが運行停止になった場合、別途指示する。

ウ 暴風警報等が発令され、バスが始発から運行停止になった場合、その日の試験は行わず延期する。

エ 第一次試験を予定している令和5年8月19日（土）に試験を行わなかった場合、令和5年8月26日（土）に第一次試験の日程を変更し、合格発表も令和5年9月6日（水）（予定）に日程を変更する。

(2) 第2次試験

第1次試験合格者については、令和5年9月19日（火）に個人面接試験を行う。

試験の日時、試験会場等については、第1次試験合格者に直接通知する。

また、健康診断書の提出が必要となる。

5 給与等

(1) 採用予定日 令和6年4月1日（採用は、原則として同日以降を予定しているが、同日より前に採用されることもある。）

(2) 給与

初任給は、大学を卒業した者で169,800円（令和5年4月1日現在）を基準として、学歴や経歴その他に応じてこの額以上になる。他に扶養手当、住居手当、期末手当、勤勉手当等が支給条件に応じて支給される。

(3) 勤務場所 文化財課他

6 試験結果の開示

試験の結果については、沖縄県個人情報保護条例（平成17年沖縄県条例第2号）第26条第1項の規定に基づき、口頭による開示請求をすることができる。なお、電話、ファクシミリ、はがき等による開示請求はできない。

開示請求をする場合は、受験者本人であることを証明できるもの（運転免許証、旅券等）を持参の上、午前9時から午後5時までの間に、沖縄県教育庁総務課へ直接来所すること。ただし、閉庁日（土曜日・日曜日及び祝日等）を除く。

開示する内容	開示請求できる人	開示請求期間	開示請求場所
第1次試験の合計得点及び順位	第1次試験合格者	最終合格発表日から 令和6年3月29日（金）まで	教育庁総務課
	第1次試験不合格者	第1次試験合格発表日から 令和6年3月29日（金）まで	
第2次試験の得点及び順位	第2次試験受験者	最終合格発表から 令和6年3月29日（金）まで	

7 その他

本試験に関するお問合せ先

〒900-8571 沖縄県那覇市泉崎1-2-2（沖縄県庁13階）

沖縄県教育庁総務課総務班

TEL 098-866-2705 FAX 098-866-271

沖縄県教育委員会職員(専門員)採用選考試験受験申込書		※			第1次		第2次	
		出席欄	教養	専門	古文書読解			
ふりがな	生年月日・年齢・性別	本籍	都道府県	試験区分				
氏名	昭和・平成 年 月 日生 性別(任意記載)	国籍	(在留資格)	史料編集担当				
(〒 -)	(同居先 方)			※受験番号				
住所	(TEL - -)							
(〒 -)	(同居先 方)							
連絡先	(TEL - -)							
学歴	学校名	学部科・研究科専攻名	所在地	在学期間	該当を○で囲む	(写真添付欄)		
	現在(最終)	学部・研究科 学科・専攻		年 月から 年 月まで	卒、卒見込 在学、中退	(タテ4.5cm×ヨコ3.5cm)		
	その前			年 月から 年 月まで	卒、中退			
職歴	勤務先	所在地	在職期間	退職理由	写真の裏面に氏名を記入してください ・申込前3か月以内に撮影したもの ・脱帽、正面向きのもの			
	現在(最終)	(TEL - -)	年 月から 年 月まで					
	その前		年 月から 年 月まで					
<p>私は右に掲げる各号のどれにも該当しておりません。</p> <p>(1) 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者</p> <p>(2) 沖縄県職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者</p> <p>(3) 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者</p> <p>この申込書のすべての記載事実に相違ありません。</p> <p style="text-align: right;">令和 年 月 日 申込者氏名 (自筆)</p>								

記入心得

- 記載事項に不正があると不合格になることがあります。
- ※欄を除いて、申込書、受験票(はがきに貼付したもの)のすべてに記入してください。
- 黒色のボールペンを用い、かき書でいねいに記入してください。数字は算用数字を使ってください。
- 氏名、生年月日、年齢、性別、本籍(都道府県名のみ)及び国籍は正確に記入してください。
- 住所欄には、現在居住しているところを記入してください。寮、アパート、下宿、間借り等の場合は建物の名称、同居先を明確に記入してください。
- 合格通知は連絡先に行いますので、最も確実なところを記入してください(住所と同一の場合は、「同上」と記入する。)
- 学歴欄は、新しいものから順に二つ記入してください。専修学校、各種学校は記入しないでください。
- 職歴欄は、今までの勤務上の経験(自家営業を含む。)を新しいものから記入してください。現在勤務中の場合は、退職理由欄に斜線を引いてください。

受験申込書を提出する際は、次の項目を確認してください。
(□に✓ をつけながら確認してください。)

確認欄

- 宣誓欄に署名しましたか。年月日も忘れずに書いてください。
- 写真は、貼りましたか。
- 申込書、受験票(はがきに貼付したもの)の記入欄に漏れはありませんか。太線で囲んだ欄はすべて記入しましたか。
- はがきの表には切手を貼り、住所、氏名を正確に記入しましたか。

受験票 貼付様式

受験票表面貼付用と裏面貼付用を点線に沿って切り取り、郵便はがきのそれぞれの面にしっかりと貼り付けてください。

※ 注意:郵便はがきの表面に63円切手の貼り忘れがないか確認してください。

<受験票 表面貼付用>

<受験票 裏面貼付用>

(切り取り)

(住 所) _____

(同居先) _____ 様方

(氏 名) _____ 様

沖縄県教育委員会職員(専門員)採用選考試験
受 験 票

試験区分 専門員(史料編集担当)	※受験番号
※試験日時 令和 年 月 日() : ~	
※試験場	

〒900-8571 沖縄県那覇市泉崎1-2-2
沖縄県教育庁総務課総務班
TEL 098-866-2705

(切り取り)

受験心得

- 1 試験当日は必ず本票を持参し、表記の時刻までに着席できるようにしてください。
なお、試験開始後は原則として受験できません。
- 2 受験者は筆記具(鉛筆、消しゴム)を持参してください。
- 3 試験場では、試験係員の指示に従ってください。
試験係員の指示に従わない者、又は不正行為をした者には退場を命ずることがあります。
- 4 試験を棄権する場合は答案及び受験票に「キケン」と書いて試験係員に申し出てください。

(切り取り)

